



厳しい寒さに負けないように

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和2年12月号】

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

自分の進路を自分で決めていく力を育むために キャリア教育の取組み

○キャリア教育が求められる背景

- ・少子高齢化社会の到来、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化
- ・就職・職業をめぐる環境の変化
- ・若者の勤労観、職業観の未成熟
- ・社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力の不十分さ

これらのことから、子どもたちが社会の激しい変化に流されることなく、直面する様々な課題に柔軟に、たくましく対応し、社会人・職業人として自立していくための教育の推進が強く求められています。

○本校のキャリア教育

本校では、キャリア教育を、「自己の生き方を考え、学ぶ意欲を高め、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てること」ととらえ、生徒達の発達段階や各学年の特質を踏まえ、交流活動・体験活動を通して、「学ぶこと」と「働くこと」を関係付けながら・・・

- ・社会の一員としての自己の存在を理解し、社会での職業や勤労及び学校での学習や諸活動に積極的にかかわる意欲・態度を育む
- ・「生き方」について考え、「生きること」の素晴らしさを実感させる

をねらいに、「人とつながる力」「自分を見つめ夢や目標を描く力」「課題をもって最後までやり抜く力」「職業や仕事について興味や関心をもつ力」「ふるさとのよさに気づき自らかかわる力」等を育てています。

キャリア教育 1学年の目標	キャリア教育 2学年の目標
自己を理解するとともに他者を認め、コミュニケーションをとりながら諸々の活動に協力して取り組み、やりがいをもって自分の役割を果たすことができる。 特に地域体験を通して地域産業への理解を深め勤労観を育む。また、地域の良さを知り、地域に貢献できることはないか考える。	地域の社会・産業や職業について理解し、自己の興味関心や適性をふまえ、働くことを含めた将来像を考えることができる。 特に企業や仕事内容について調べ、職場体験を通して学んだことを自分の進路に生かす。また、地域の良さを知り、地域に貢献できることはないか考える。
キャリア教育 3学年の目標	
将来のキャリアプラン実現に向けて具体的方策を設定し目標達成のために努力することができる。 特に、福祉・医療交流体験を通し、自分を見つめ直し、より豊かな生き方を考える。また、地域の抱える課題を発見し解決していこうとする態度を身につける。	
<地域医療を学ぶ (2020.12.4)> 地域医療に携わる3名の研修医の先生の講話から、医療を身近に感じるとともに、地域医療の現状や課題について理解を深めました。また、課題解決に向けて自分たちができることは何かについても考えました。	<職業人から学ぶ (2020.12.11)> 新しい産業の創出に関わる企業人や国内外で活躍する卒業生の実体験に基づいた講話から、産業界が求める人物像など、これからの進路選択や進路実現に向けて新たな視点から自身の進路を見つめ直しました。



家族が子どものキャリア教育での学びに対話的に関わることで、子ども自身の自己との対話がさらに深まり、大きな成長につながります。冬休みには、ご家庭でもぜひ話題にいただければと思います。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。